



2017-2018年度

クラブ運営方針 ▶ 「温故創新」

# 広島北ロータリークラブ週報

ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

Vol. 1519  
2017年8月3日発行

Rotary  
Club of Hiroshima North



広島北ロータリークラブ ■会長 東 正治 ■幹事 越智 健剛

事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/

設立 1969年4月24日 承認 1969年6月28日  
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

## 本日の例会 2017年8月3日(木) 第2324回

国歌斉唱  
ロータリーソング 「奉仕の理想」  
四つのテスト唱和 職業奉仕委員会  
来客紹介 親睦委員会  
誕生月会員お祝い  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告  
卓話時間  
『新会員自己紹介』  
池久保典也会員 / 桑原 一通会員 / 重田 雄三会員

## 前回の例会 2017年7月27日(木) 第2323回

ロータリーソング 「それでこそロータリー」  
来客紹介 親睦委員会  
会長時間  
幹事報告  
委員会報告  
同好会報告  
卓話時間  
『病気の子どもと家族を支えるチャイルド・ライフ・スペシャリスト』  
広島大学病院  
チャイルド・ライフ・スペシャリスト 藤原 彩氏

### ●●●●●ガバナー補佐ご挨拶●●●●●



グループ6ガバナー補佐  
奥芝 隆 様(広島安佐RC所属)

公式訪問に先立ちガバナー補佐に例会ご出席頂き、ご挨拶を頂戴しました。

### ●●●●●会長時間 会長 東 正治●●●●●

奥芝ガバナー補佐、先程はご挨拶を頂きありがとうございました。クラブ協議会よろしくお願ひ致します。また、広島大学病院チャイルド・ライフ・スペシャリストの藤原 彩様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。本日、例会終了後クラブ協議会があります。そのため今日の会長時間は、改めて RI 会長テーマ、藤中ガバナーの信条を皆さんと確認したいと思ひます。「ロータリーとは何ですか?」の書き出しで始まる、2017-18年度イアンH.SライズリーRI会長テーマは、その答えとして「ロータリー: 変化をもたらす」を掲げています。奉仕活動を通じて人々に「変化をもたらす」ことにより、われわれが充実感を得るとしてあります。また、環境に対する良心を呼び起こしたいと持続可能性についても触れられています。

2710地区の藤中ガバナーは「時代の変化の先頭にたとう! ロータリーの心で地域の創生を!!」を信条に、また、基本的目標として「ロータリーの元気は地域の元気」を掲げられています。多くのロータリアンは地域のリーダーとして活躍しています。クラブの元気は地域の元気に直結します。各クラブの特性を活かして活力あるクラブにと言われておられます。これらを理解してクラブ協議会を有意義なものにして頂きたいと思ひます。また、8月10日にはガバナー公式訪問がございます。例会後のフォーラムには是非多くの方にご参加お願ひいたします。これで本日の会長時間を終わります。

### ●●●●●幹事報告 幹事 越智 健剛●●●●●

《ご案内》

\*例会終了後には「第1回クラブ協議会」を開催します。出席義務者の理事役員委員長および入会3年未満会員の皆様宜しくお願ひします。

《BOX配布物》

\*RYLAのご案内  
\*在広RCB5版会員名簿

### ●●●●●委員会報告●●●●●

ニコニコ委員会 本田 委員長  
\*本日18時30分より「月寅紙屋町店」で委員会を開催します。  
出席委員会 松田委員長  
\*本日18時30分より「月寅紙屋町店」で委員会を開催します。  
青少年奉仕委員会 合田委員長

\*本日、ボックスにお配りしております『RYLA(ロータリー青少年指導者育成セミナー)』ですが、11月11日に開催されます。20~30歳までの若者をご推薦頂きますようお願い致します。

ロータリー財団常任委員会 久保(豊)常任委員長

\*ロータリー財団および米山記念奨学会への寄附のお願ひを次週配布します。

### ●●●●●同好会報告●●●●●

ゴルフ同好会 秋山会員

\*去る7月23日(日)に千代田OGMゴルフ倶楽部で多打喜会が開催されました。



前年度取り切り戦優勝者  
上野 淳次 会員



7月多打喜会例会優勝  
上河 内裕司 会員

おめでとうございます!

●●●●●●●●●●ニコニコ箱の時間●●●●●●●●●●  
ニコニコ委員会 藤田省哉会員

★お客様申告

グループ6ガバナー補佐 奥芝 隆 様

本日のクラブ協議会よろしくお願ひ致します。

★自主申告

東会員・栗屋会員・越智会員・岡田(昌)会員・金井会員

藤原 彩さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

また、奥芝ガバナー補佐、本日はありがとうございます。クラブ協議会ではご指導よろしくお願ひ致します。

島本会員・坪内会員・上河内会員 藤原彩様、チャイルド・ライフ・スペシャリストとしての本日の卓話、何卒よろしくお願ひ致します。

大之木会員◇ 遅くなりましたが、誕生日のお祝ひありがとうございます。

上野会員★ 多打喜会の罰打を払います。また、取切戦の優勝罰金として

上河内会員 上河内です。先日の多打喜会で優勝してしまいました。7アンダーでの優勝でした、「お前はハンディが多過ぎる」と思われている方も多いと思いますが、これはニコニコに出走するためにあえてハンディを多くもらっていますので、優勝はたまたまです、ご理解ください。

次回もアンダー目指して頑張ります。

山下(正)会員◇ 図らずも多打喜会で3位になりました。アンダー分出宝致します。

森会員◇ 多打喜会アンダー分です。

秋山会員◇ 7/23の多打喜会、2アンダーでした。

神農会員 1アンダーで6位です。ニコニコいたしております。

山本(忠)会員◇ 7/25母校広陵野球部が広島県の大会で優勝しました。3年振りです。8/7から甲子園出場で全国大会が始まります。優勝目指して頑張ってくれると思います。皆さん、応援よろしくお願ひ致します。

下前会員 広陵、優勝。おめでとございます。

山下(正)会員・浦会員・松田会員・本田会員・岡部会員・神農会員・中山会員・小林(孝)会員・久保(豊)会員・濱本会員 広陵高校、甲子園出場おめでとございます。

吉永会員★ 残念ながら広島商業の甲子園出場はなりませんでした。優勝した広陵高校に1-0と善戦したものの2度のチャンスを生かすことができず準決勝で敗退しました。小学校の頃から息子と共に練習してきましたがこれで一区切りがつきとても寂しく気が抜けています。今回の大会では次年度保護者会副会長の越智さんにはいろいろとお世話になりました。また山本さん広陵高校の甲子園出場おめでとございます。

越智会員 吉永さん、悔しかったですね！甲子園に出た父ちゃんの偉大さを改めて感じたと思います。準決勝広陵戦、5番ファースト吉永なら絶対に勝っていたと私は思っています。息子を小学校の野球チームからずっと、1年先輩として導いてもらい本当にありがとうございました。思いを継いで頑張ってくれると思います。これからもよろしくお願ひします。

中川良男会員 岡田清治さん、7/25にホテルグランヴィア広島の開業30周年イベントが行われました。大変ご盛況でした。私も30年前にプレオープンで招待を受け、24日に一泊したことを思い出しました。おめでとございます。

岡田(清)会員 中川良男会員殿、ホテル開業30周年イベントに参加ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

武部会員 先週の例会で米山奨学委員長の就任挨拶をさせて頂くはずでしたが、急な所用により欠席してしまいました。申し訳ありませんでした。

篠崎会員 本日は所用があり、途中退席させて頂きます。申し訳ございません。

《職業ニコニコ》

荒本徹哉会員 広島バスセンターは7/29に開業60周年を迎えます。この60年間の多くの皆様のご愛顧に感謝致します。今後も引き続きご愛顧方よろしくお願ひ致します。

当日計 71,000円 累計 205,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

●●●●●●●●●●クラブ協議会報告●●●●●●●●●●

7月27日(木)例会終了後、奥芝ガバナー補佐をお迎えし、第1回クラブ協議会を開催しました。

今回のクラブ協議会は来る公式訪問に備えた内容です。フォーラムの議題を決める重要な会となります。

出席者：奥芝ガバナー補佐、岡本ガバナー補佐幹事、会員45名 合計47名



●●●●小さな祈りの影絵展制作現場見学●●●●

【日時】7月29日(土)13:00~

【場所】コミュニティアカデミー上蔵

【クラブ参加者】越智幹事、島本奉仕プロジェクト常任委員長、合田青少年奉仕小委員長、樽本 計 4名

【内容・所感】

- ・大学生・高校生 10名が参加
- ・今年のテーマ「産業奨励館」
- ・原爆ドームになる以前の活気あふれる建物と人の風景にフォーカスを当てているは平和の証しであり、今後二度とこのような建物がほかの場所でもできないようにというまさに小さな祈りであり、我々ロータリアンが青少年に奉仕することで平和に貢献できる素晴らしい活動であると感じます。



8月5日(土)・6日(日)には原爆ドーム近く元安橋袂で夕刻から影絵展を行っております。是非、お立ち寄り下さい。



●●●●●●●●●● 卓話時間 ●●●●●●●●●●

『病気の子どもと家族を支える』

チャイルド・ライフ・スペシャリスト



広島大学病院  
チャイルド・ライフ・スペシャリスト  
藤原 彩 氏

皆さん、こんにちは。初めまして、藤原彩と申します。

皆さん、聞き慣れない職業だと思うんですが、チャイルド・ライフ・スペシャリストという、まだ日本でも新しい職業についてお話しさせていただこうと思います。

まずチャイルド・ライフ・スペシャリストという資格について、簡単にお話しさせていただきます。

アメリカにある資格です。Association of Child Life Professionalsという職能団体が発行している資格になります。現在では、四年制大学を出ていいですが、2020年からは大学院、修士号を持ってくださいねという形で、今移行期になりつつあります。

学問のバックグラウンドとしましては教育学だったり心理学だったり、あとはアメリカ、わりと発達心理学という分野が独立してありますので、主に発達心理学をしっかりと勉強して資格を取ることになります。実習時間といたしましては、現在は480時間、大抵月曜から金曜、朝から夕方まで働いたとして、3カ月弱ぐらいの実習をしてからの受験ということになります。これも今、移行期間になっていまして、また2020年、オリンピックを境ぐらいに620時間に増やして、しっかり実習をしようということになります。

日本ではまだまだ、誰？とか、何する人？というレベルですけど、アメリカだと、わりと、ちょっとずつ認知はされてきていて、特に病院の中ですと、白衣は着ていないけれども医療スタッフの一員、医療チームの一員として、ミーティングとか患者さんのカンファレンスとか、それこそ予算委員会、私たち、おもちゃ買ったりとかいろいろするので、予算委員会などにも呼ばれ、医療のスタッフの一員として認識されています。

病院の規模にもよりますが、それこそ日本でも、よく心臓移植とか難しい医療で渡米するお子さんたちが行くような大きな病院で、テキサス・チルドレンズ病院とか、そういった所は1病院にも50~60名チャイルド・ライフ・スペシャリストを雇って、ありとあらゆる所に配置して、子どもたちと家族のサポートをさせてもらっています。小さい病院ですと3~4人という所もありますが、日本は今一番多い所で3人、ほとんどのチャイルド・ライフ・スペシャリストが、日本では1人で活動しているような状況です。

日本には現在40人ほど、有資格者は40人ちょっと多いんですけど、女性が多い職業でするので産休に入られたりとか、あと旦那さんのお仕事の都合で、転勤で一時期、職場を離れたりということもあるので、40人前後ぐらいが常に活躍しているような状況です。

普段チャイルド・ライフの活動をさせていただくにあたって、大きな目標を二つ掲げています。一つは、入院治療から来る不安やストレスに、子どもとご家族がうまく対応できるような支援をしていきます。

皆さんご存じだと思いますが、病院は非常に子ども向けに作られた環境ではありません。見慣れない物、見慣れない人、雰囲気、そういったもの全てが子どもたち、特段の説明もなく、ある日突然病気やけがで、急に行かないといけない、急に処置をしないとといけない、急に治療が始まってしまう。そういった状況に対して非常に不安を抱えていたりとか、怖いって、ずっと思っていたりとか。

あるいは親御さんも同様です。親御さんも急に、お宅のお子さん、もしかしたら大きな病気かもしれないって言われたとき

に、どうしていいかわからない。病気にも向き合わないといけないし、入院する子の生活も立て直さないといけない、残ったきょうだい、おうちに残す元気がきょうだいたちの面倒を誰が見るかも、アレンジしないといけないということで、家族自体に非常に大きなストレスというか、大きなイベントとなってきますので、そういったものが少しでも負担が少なくなって、スムーズに入院生活が始められるように、また始まった後も、いろんな怖いことが子どもたちに襲いかかってくるので、そういったことに対して少しでもサポートして、怖いもの、不安なものが小さくなるように支援する、それが私たちの目標の一つになります。

もう一つの目標は、子どもの通常の成長・発達を支援することになります。短期入院ですとそんなに問題はないんですけども、これからお話しさせていただくような小児がんのお子さんになりますと、半年から一年以上の入院が待っています。もちろん、ずっと入院しているわけではなくて、1カ月に1回、2泊3日の外泊はできるんですけども、ほとんどの時間を病院という、かなり制限された環境で過ごすことになります。親御さん、基本的に付き添いでずっといらっちゃって、きょうだいとかなかなか会えないし、学校とかにも行ったりはしますけど、とても少人数だったりとかして、なかなか外の世界の元気なお子さんとは、とても同じとは言えない環境で6カ月、1年を過ごすことになります。

そうした場合に、元気になって病気治して帰っていくんですけども、やはり外の世界の子たちはずっと先を行っていて、それは勉強面だけじゃなくて体の発達面だったり心の発達面だったり、全ての面において随分先を行っていることが多いんですね。それは、病気を治すため、けがを治すために、そういう遅れは仕方がないのか、自分たちで後は頑張るしかないのかという、これは結構大変で、やはり普段からちゃんとサポートしていかないと、急にご家族だけで、ご本人だけで、その遅れを取り戻すってことは実はすごく大変で、何もサポートとか適切な支援がないと結構スムーズに戻っていけないという事例は、これまでたくさんありました。なので、病院の中の環境とかを全く外と同じようにすることはできないんですけども、少しでも子どもの目線でいろいろ考えてやることで、発達・成長をサポートできるんじゃないかということで、通常の発達支援というのを念頭に置いてやっています。

三つ目は、両親やごきょうだいへの支援ですね。長期入院、先ほども申し上げましたように長期入院になりますと、やはり親御さんの不安、ストレスというの計り知れませんが、おうちに残された元気がごきょうだいも、主な養育者であるお母さんがずっと病院にいて、なかなか会えない。自分は急にお父さんとか、お父さん、お仕事で結構いらっしゃらないことが多くて、お父さんも夜に時々会えたり会えなかったり、普段はおじいちゃんおばあちゃんと急に生活をなさって言われたら、日々の生活のルーティンが狂うですね。

お母さんだったら言わなくてもこうしてもらえたのにとか、おばあちゃんはこのときこうしてしまうんだと、おじいちゃんはずっと怒ってしまうんだとか。お父さんに甘えたくても、お父さんお仕事で疲れてて、お父さん、うちの用事もしないといけなくなったから、お父さんもすごく疲れてて、いつもイライラしてて、僕はどこにも遊びに連れて行ってもらえない、誰も私の話を聞いてくれないということで、結構最近きょうだいたちのストレスとか問題というのが、クローズアップされるようになってきました。なので、私たちがなかなか、院内にいて、元気なごきょうだいにお会いする機会というのは、なかなか得られないんですけども、時々イベントとかやったり、あるいはお母さんとの対話を通して、こういうようにお声掛けしてくださいねとか、ごきょうだいこういうように言ったときは、ぜひ病院に連れて来てもらえますか、お話しさせていただきますといった感じで、間接的なアプローチもするようにしています。

ここから派生して、いろいろお子さん、処置中のサポートですとか、退院時の、最近だったら復学支援という言葉でよくいわれるんですけども、学校に戻っていく、長期の闘病生活を終えて学校に戻っていくとき、特に小児がんですと外見上の変化ですとか体力の低下とか、いろんな問題があって帰っていくんですけども、そういったときに、ちょっと学校側に配慮していただいたり、サポートしていただいたりしないといけないことがたくさんあるんですね。そういったことを病院側から体系的にお伝えさせていただく、そうすることで、帰るときのハードルを少し下げることができるかなと思っていますので、退院時の支援、復学支援というのも、特にここ最近、熱心にやっていることです。

その下のターミナルケア、グリーフケアですね。これは残念ながら治療で完治の見込みがなくなった場合、残念ながらお子さんが亡くなってしまおうと行くと、ちょっと特殊なケアになります。ターミナルケアというのは亡くなるまでの医療的なケアで、グリーフケアというのは亡くなられた後のケアにもなります。

これは非常に重要で、やはりお子さんが先に亡くなってしまおうというのは、そのご家族にとってはものすごく大きなトラウマとなりますので、亡くなるまでのプロセス、また亡くなった後も、亡くなった患者、うちの患者さんじゃないんだから知らないよではなくて、何かお手伝いして、少しでも、その悲しみを癒やすお手伝いができるのであればさせていただくということで、年に2回ほど、リハビリのスタッフと看護師さんと私たちと心理士さんの方で、やらせていただいています。

あと、チャイルド・ライフは、非常にアメリカでもまだまだ新しい仕事、職種の内に入ってきますので、他職種との連携ということもきっちりしていきたいよということで、コミュニケーションということで連携を取らせていただいています。

では実際、入院中、子どもたちがどんなふうに過ごしているのか、皆さんにご紹介できたらと思います。

基本的にプレイルームという大きな場所があって、そこにきていただけたらお子さんはそこで、幼稚園とか小学校のようにいっぱい遊んでもらうといいんですけども、残念ながらお部屋から出られないお子さんというのも、治療の関係でたくさんいらっしゃいます。そういうときは私の方がベッドサイドに赴いて、30分から1時間なり、発達に適した遊びをするようにしています。

小さいお子さんであれば、本当にその子がしたいことを自由に、散らかしてもいいし、ぐちゃぐちゃにしてもいいしということで、いろいろ、お絵かきしたりとか、物をちょっと投げて、ボール投げして遊んでみたりとか、いろいろするようにしています。

ここで、先ほどちょっとお話したプレパレーションについて、簡単にお話しさせてもらおうと思います。

これから起こる未知の出来事に対する子どもの不安や恐怖を軽減するために行う、心理的な介入です。よく、子どもに説明すればいいんでしょというんですけど、確かに説明もとても大切、子どもに分かるように説明するというのは非常に大切なこと。ただ、そのときにお子さん一人一人全員違いますので、年齢も違う、理解度も違う、理解の仕方も違う、過去の経験も違うし性格も違う、そういうように発達段階を見極めて、会話を通してそういうのを把握した上でお話しをさせていただくという、非常にオーダーメイドな対応となっています。

お話しをさせていただいた後の方が実は重要で、話を聞いた後に、子どもたちの中にいろんな感情が起こってくるんですね。やはり嫌だと思ふ子もいるし、それなら頑張るって思ふ子もいるし。それなら頑張るって思ふ子には、もうちょっと話をきちんと詰めて、本当に頑張るかどうかきちんと確認していこう、とても不安なお子さんに対しては、その不安な気持ちがどうやったら少しでも小さくなるか、一緒にだよ、独りじゃないんだよって、小さくする方法はたくさんあるんだよ、お手伝いできるんだよという

ことを、常に伝えるようにしています。

そういった意味では、子どもの不安な気持ちを受け止めて、一緒に揺らぐんですね。大丈夫だよ、絶対大丈夫だからって押しつけるのではなくて、不安だって言ったら、「そうだね、嫌だね。私も嫌だ、同じ立場だったら嫌だと思ふと思ふ。逃げたくなるよね」という感じで気持ちを一緒に受け止めて、ちょっと頑張ろうかなと思ふたら、「じゃあ、ちょっとだけ一緒に頑張ってみる？」って言って一緒にこっちに来て、やはり嫌だった、「そうだよ、やはり嫌だよ」というように、一緒に揺らいで対処方法を見つけていくことになります。

最後は、どんな状況になってもスタッフ、周りにいるお医者さんとか看護師さんが絶対助けてくれるから、必ず痛み止めを使ってくれるんだ、だから我慢しちゃいけないんだよ、黙っていたら誰にも伝わらないんだよ、困ったことがあったら必ず教えてねという形で、安心感を与えるような姿勢づくり、あとはスタッフに対しても声掛けの仕方を徹底するようにしています。

これは、実際に放射線治療を受けるお子さんへのプレパレーションの場面です。技師さんに協力していただいて、事前にツアーといった形で放射線科の機械を見せていただいたり、動かしていただいたり、部屋の中を探検して「これは何？ あれは何？ どうやって使うの？」、実際に説明して、1時間ぐらいかかったりするんですけども、親御さんと一緒に、話を聞いて、見て、理解して、触って、におつてという形で、事前に準備をしてお話しさせていただいています。

あと、両親の支援ですね。先ほども簡単にお話ししました。お母さんとお話しして、困ったことがあればスタッフを通じて対応させていただくということで、毎日お話をしてもらっています。

最後、まとめですね。普段こうやって、ご家族の視点とか価値観とか、子どもの考え、価値観というものを、拾っては医療スタッフに伝えて、ちゃんと双方のコミュニケーションが取れるようにしています。立ち位置としては、医療者に完全に入ってしまうのではなく、常に、どっちかという家族寄りになれるような、そんな立ち位置を心掛けて、でも、もちろんあくまで医療チームの一員なんですけど、家族から見たときには自分たちの側に近いんじゃないかなと思ってもらえるような、そんな立ち位置を心掛けて普段の仕事をしています。

ご清聴ありがとうございました。  
※完全版をご覧になりたい方は事務局にお申し付けください。



- 出席報告 出席委員会  
2017年7月27日(木) 会員数 92名  
出席 73名 欠席 19名  
来賓 1名 来客 2名  
7月13日例会 修正後出席率 100%
- 来客紹介 親睦委員会  
藤原 彩 様(卓話来賓)  
奥芝 隆 様(グループ6ガバナー補佐)  
岡本 忠文 様(グループ6ガバナー補佐幹事)
- 次回例会案内 2017年8月10日(木)  
【公式訪問】  
会場 ホテルグランヴィア広島4F悠久の間  
新会員1名入会式予定  
卓話 国際ロータリー第2710地区  
ガバナー 藤中 秀幸 氏  
食事 幕の内